

平成21年度 財務書類(普通会計) を公表します

昨年より国の公会計改革に基づき作成された平成21年度普通会計財務書類を公表いたします。

これまでの決算書類とは別に企業会計的手法を取り入れた財務書類4表の特徴は、その年度にどのような収入があり、それをどのように使ったかといった現金の動きを中心とした収支情報(フロー)に加え、町が整備してきた資産や借入金などの負債といった財産情報(ストック)や行政サービス提供のために発生した費用情報(コスト)を知ることができ、さらに他の団体との比較が容易にできるといった特徴を持っています。また、財務書類は、財政状況を的確に把握し、効率的な行政運営を行うための分析や評価を行うことなどを目的としています。

今回は普通会計の主に貸借対照表と行政コスト計算書を中心に簡単な概要を説明いたします。なお、町全体の財務書類と一部事務組合などの外郭団体を含めた連結財務書類については、順次、ホームページに掲載いたします。

お問い合わせ先 … 企画財政課 公会計推進室 ☎(84)1111(内線223)

※フローとストック … 一定期間における変動量がフロー、ある時点における蓄積高がストックになります。

※企業会計的手法 … 発生主義：現金の支出を伴わない費用を把握するもので、貸借対照表の退職手当引当金や行政コスト計算書の減価償却費が該当します。
複式簿記：現金以外の資産・負債の動きも記録するものです。

(例) 車を200万円のローンで購入した場合 → (借方) 車200万円 ⇄ (貸方) ローン残高200万円

※財務書類4表 … 基準モデルと総務省方式改訂モデルのうち町は後者を採用。

総務省方式改訂モデルは「地方財政状況調査(決算統計)」を基に昭和44年度以降のデータによって作成するため比較的簡単に作成でき、また、全国で多くの自治体が採用するため他の自治体との比較・検討が可能であるという特徴があります。

財務書類は、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書からなり、4表は矢印の箇所がそれぞれ一致する関係になっています。

※書類内のカッコは町民1人当たりの額 (平成22年3月31日現在の住民基本台帳人口:9,545人) … 前年比124名減少しています。

貸借対照表

	借方	貸方	
資産 将来にわたって行政サービスを提供することができる価値、すなわち次世代が受けとることができるサービスに使用されます。	資産の部 176億3,461万2千円 (184万8千円) ※前年度比で4千円の減少	負債の部 53億440万円 (55万6千円) ※前年度比で3万3千円の減少	負債 将来において支払いや返済の必要があるもので、次世代が負担する地方債などです。
公共資産 土地、建物など長期間にわたって行政サービスを提供するために使用する資産です。	公共資産 147億5,607万3千円 (154万6千円)	固定負債 49億427万円(51万4千円)	地方債 地方債(借金)のうち翌々年度以降に返済が予定されているものです。
投資及び出資金 第3セクターや企業会計への出資金等です。	投資等 17億6,455万6千円 (18万5千円)	地方債 40億1,495万5千円(42万1千円)	退職手当引当金 年度末に全職員が退職した場合に必要な額です。
貸付金 納期が到来していない貸付金です。	投資及び出資金 6億7,733万5千円(7万1千円)	退職手当引当金 8億8,931万5千円(9万3千円)	翌年度支払予定地方債 翌年度に返済が予定されている地方債です。
基金等 将来の支出に対する、財源の蓄えである基金(貯金)です。(財政調整基金と減債基金を除く)	貸付金 7,282万7千円(8千円)	流動負債 4億13万円(4万2千円)	賞与引当金 翌年度支払い予定の賞与について、支給対象期間のうち当年度にかかるものです。
長期延滞債権 税金などで収入されていないもののうち、1年を超えて回収されていないものです。	基金等 6億6,906万1千円(7万円)	翌年度支払予定地方債 3億6,332万8千円(3万8千円)	純資産 現在保有する財産を整備するために、国や県からの支出金や税金がどのくらい充てられてきたかを示します。
現金預金 現金・預金や財政調整基金、減債基金です。	長期延滞債権 3億6,880万円(3万9千円)	賞与引当金 3,680万2千円(4千円)	その他一般財源 資産の部(借方)の流動資産に充てた財源です。
未収金 税金などで収入されていないもののうち、今年度新たに発生したものです。	回収不能見込額 △2,346万7千円(△3千円)	純資産の部 ③ 123億3,021万2千円 (129万2千円) ※前年度比で2万9千円の増加	資産評価差額 資産の取得価格と売却可能価格との差額などです。
	流動資産 11億1,398万3千円 (11万7千円)	公共資産等の財源 140億9,093万3千円(147万6千円)	
	歳計現金 ① 2億4,102万6千円(2万5千円)	その他一般財源 △18億1,473万4千円(△19万円)	
	現金 普通預金 基金 8億3,712万8千円(8万8千円)	資産評価差額 5,401万3千円(6千円)	
	未収金 3,582万9千円(4千円)		